

令和元（2019）年度 事業報告

(令和元年4月1日～令和2年3月31日)

公益財団法人 全国里親会

令和元（2019）年度 事業報告

平成 30 年度における制度改変は、平成 28 年[児童福祉法]の改正、平成 29 年[新しい社会的養育ビジョン]発出により、厚生労働省は、平成 30 年 7 月 6 日付で①「都道府県社会的養育推進計画」 ②「フォスタリング機関（里親養育包括支援機関）及びその業務に関するガイドライン」 ③「乳児院・児童養護施設の高機能化及び多機能化・機能転換、小規模かつ地域分散化の進め方」 ④「一時保護ガイドライン」という 4 つの通知を発出した。

今後の「里親制度」を取り巻く環境の変化をより具体的に示したことの意味は大きい。平成 30 年度以降は「里親制度」に関する大きな改正点はなかったが、各自治体に対し令和元年度末までに行程表の提出を求めたこと、児童相談所の改革とフォスタリング機関の創出、施設の変革に関しては、今後の「里親制度」の発展の面で大きく評価される。

本会としては「都道府県社会的養育推進計画」に関し里親会全体の意見をまとめ、平成 30 年 12 月 25 日付で各地方自治体の長に対し「社会的養育を推進する上での要望」という形で意見表明を行い、公益財団法人全国里親会及び各都道府県市里親会の姿勢を明確にした。

また、児童虐待問題に関しては、年々著しい増加が見られる。厚生労働省より平成 30 年度の児童虐待相談対応数等の公表によれば、前年度より 20,672 件と増え過去最多を更新し[児童虐待]が社会問題として大きく提起されている。近年起きた 2 つの「児童虐待死事件」から、国は児童福祉法改正に向けて検討を重ね、令和 2 年 4 月より「児童虐待の防止等に関する法律」の施行（改正）を受け「児童福祉法」改正も同時施行が決議されている。これまで以上により総合的な対応が行われることは大いに評価できる。焦点は、今後、児童相談所の設置を増やし、専門家を配置し、職員を増員することにある。

このような動きを踏まえ本会としては、①里親リクルート事業 ②研修事業③児童虐待問題対策事業の 3 つの主要事業を積極的に行い、国と各地方自治体の動勢に呼応し対応した。また、平成 30 年 12 月 15 日に全国児童家庭支援センター協議会と包括的な協定を締結したが、令和元年度も「他団体との積極的な連携」を進めるとともに、児童が可能な限り良好な家庭的環境において養育されるよう、都道府県市里親会に対し国（都道府県等）の施策と相まった活動を促進するための支援は引き続き進めていくこととした。

本会は、平成 28 年度に内閣府の勧告を受けてから関係団体等からの助成や補助が打ち切られ、依然として厳しい財政状況にある。助成金・寄付金の獲得へ向け全力を挙げて取り組んでいるが、公益財団法人全国里親会が持続可能な組織として存続していくための方策について、今後も引き続き知見を集約し対応していくこととする。

令和元年 10 月 12 日の全国里親会・会長会議において会費の改正が成立し、令和 2 年度より施行することは、持続可能な組織運営の一助並びに全会員への扶助もより良いものとする。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響もあり社会情勢を押し量りながら最善の対処を行っていくこととする。

[公益目的事業]

- 1 里親制度に関する調査研究事業（公1）
- 2 里親の育成事業（公2）
- 3 里親制度の普及啓発事業（公3）
- 4 里親の永年表彰事業（公4）
- 5 里親に関する相談指導事業（公5）
- 6 東日本大震災における孤児及び里親に対する支援事業（公6）

[法人関係事業]

- 1 一般管理事業
- 2 各委員会事業
- 3 関係機関等との連絡調整事業
- 4 その他、法人の目的を達成するために必要な事業

1 里親制度に関する調査研究事業（公1）

里親委託の促進及び里親の養育を支援するための方策等について調査研究するため、全国里親委託推進委員会（平成24年度設置）において、その方策が検討された。本年は、全国里親会において一時保護のアンケート調査を行い厚生労働省へ提出をする。

2 里親の育成事業（公2）

里親会活動による里親支援や里親会の活動の活性化、里親の養育技術向上のための研修を実施する予定であったが、台風19号の影響により中止となる。

① 第64回 全国里親大会宮城仙台大会（公2・公4）

厚生労働省が提唱する「里親を求める運動」に賛同し、宮城県仙台市において、全国里親大会を開催し一般への里親制度の周知を図るとともに基調講演・分科会等により既存の里親への研修を行う予定であった、前述のとおり中止となる。

- ・開催日程 : 令和元年10月12日・13日
- ・開催場所 : 仙台市国際センター
- ・開催里親会 : 宮城県なごみの会、仙台市ほほえみの会

② 地区里親研修会開催事業（公2・公4）

全国8ブロックにおいて里親研修会を開催し、里親制度の促進に功労のあった里親及び関係者の表彰（公4）を行うとともに、里親が抱える様々な問題についてテーマごと分科会等による検討会や里子の養育に関する諸問題についての研修を行い、里親の資質の向上を図った。

ブロック別研修会開催地

ブロック地区	開催日	開催地
北海道	9月8日	北海道登別市
東北	10月12・13日	宮城県仙台市
関東甲信越・静	7月21日	新潟県新潟市
東海・北陸	6月15・16日	三重県桑名市
近畿	6月23日	和歌山県和歌山市
中国	5月25・26日	広島県広島市
四国	9月1日	香川県高松市
九州	7月27・28日	福岡県宗像市

③ 各里親会が「里親支援機関」A型の指定を受けるため、活動資金を助成

島根県里親会 15万円 奈良県里親会 99,265円
富山県里親会 10万円

④ 『第3回 全国里母の集い in あいち』研修会開催

里子の養育主体である里母に特化した研修会。養育の質の向上を目的とし、より一層の里親制度を目指すための事業として企画した。

開催日 ：令和2年2月29日～3月1日
 ※新型コロナウイルス感染緊急非常事態につき次年度
 ・令和2年8月29日30日開催延期
開催地 ：愛知県岡崎市
開催地里親会：愛知県里親会連合会

⑤ 全国里親制度研修講座の開催

厚生労働省より平成29年に「新しい社会的養育ビジョン」の下、社会的養護児童を家庭に迎え入れる家庭的養育への方向付けが示された。

今回は、その一環としての第1回全国里親制度研修講座を開催した。

開催日 ：令和元年10月3日
開催場所 ：自由民主党本部8階大ホール

テーマ : 今考えよう新しい社会的養育ビジョン・里親制度
(深めよう家族の絆&こどもの居場所)

⑥都道府県市里親会 会長研修会開催

各都道府県市里親会の会長を対象に「里親制度」変革に対する各里親会会長の認識を確かなものとする事と、それに基づく今後の里親会運営を時代に合った内容とすることを目的とし、研修会を年2回開催し、2回受講者は終了証授与。

開催日 第1回 6月28・29日
第2回 10月11・12日

⑦ 里親リクルート活動に対する助成

令和元年5月7日付け里親リクルート助成事業実施要綱 2-(2)②に則り、『(既存)里親が(新規)里親をリクルート』を合言葉に、都道府県市里親会の里親リクルート活動に対して助成した。

1人当たり 5,000円 対象者数 272人 総額 1,360,000円

⑧ その他

ア 奨学金関係

i 奨学金関連情報を周知

ii 奨学金取扱事務：JXTG 奨学助成者 128人

イ セイバンランドセル贈呈協力

(株)セイバンが里子にランドセルを寄贈するに当たり、ランドセルの希望受付・配布・式典出席(大阪市内)と寄贈主(株)セイバンに感謝状贈呈。

3 里親制度の普及啓発事業(公3)

① 機関誌「里親だより」の刊行

里親に関する情報の提供、里親制度や養育上のQ&A、地区の活動状況の紹介などを編集し、会員等に配布した。

発行 年4回(5月、8月、11月、2月)、

A4版 16頁

配布先 里親会、全国里親会会員、都道府県・市、児童相談所、乳児院、児童養護施設、その他(関係機関、団体等)

ホームページに掲載

発行部数 各回 10,000部

編集委員会の開催・取材等

② 月刊紙「マンスリー」の発行

毎月 10 日発行を目途に、社会的養護に関するトピックスを取り上げ、マンスリーニュースを発行し、各里親会（64 か所）へ配布、全国メーリングで配信、ホームページ掲載等により情報提供を行った。

③ ホームページ・メーリングリストの活用

全国の地区里親会活動の掲載、全国里親会の活動状況、会員の動向・会員向けの情報提供サービス、地方里親会の事業の開催状況（開催時期や募集等）など最新情報を提供した。

④ 広報用パンフレット・リーフレットの作成・配布を行った。

⑤ 他団体との連携

ア ファミリーホーム協議会総会・大会参加

イ 協力機関との連携：日本フォスターケア研究会・日本子ども支援協会・全国家庭養護推進ネットワーク

ウ 全国児童家庭支援センター協議会との協定に基づく事業

⑥ 各種会議への参加

ア 厚生労働省：社会保障審議会児童部会社会的養育専門委員会

イ 自由民主党：児童の養護と未来を考える議員連盟

ウ 日本財団：子どもの家庭養育推進官民協議会

エ 全国社会福祉協議会：全国退所児童等支援事業連絡協議会

⑦ 各種選考委員会へ委員としての参加

ア 厚生労働省：里親制度広報啓発事業者選考委員会

イ 全国社会福祉協議会：ソトバツ「チャリティースマイル」選考委員会

ウ 全国社会福祉協議会：JXTG 奨学助成選考委員会

4 里親の永年表彰（公4）

第 64 回全国里親大会の開催（公2、公3、公4）

毎年 10 月の里親強調月間において、厚生労働省が「里親を求める運動」を提唱している。その一環として 10 月 12・13 日宮城県仙台市「仙台国際センター」において「第 64 回全国里親大会」を開催予定であったが、台風 19 号の影響により中止となったため、功労者に対し公益財団法人全国里親会会長表彰と記念品を授与

者に配送した。

全国里親会 会長表彰 64人
全国里親会 会長感謝状 7人

5 里親に関する相談・支援事業（公5）

① ホームページの管理・更新

全国里親会の活動状況、会員の動向・会員向けの情報提供サービス、地方里親会の事業の開催状況（開催時期や募集等）などリアルタイムで最新情報を提供した。

② メールングリストによる情報交換、質疑応答、意見交換などの管理を行った。

③ 電話・メールによる問合せ・相談等に適切に回答・支援を行った。

6 東日本大震災及び災害における被災児童と里親に対する支援事業（公6）

① 東日本大震災の被災児童に対する支援を引き続き実施した。

② 被災児童を養育している親族里親の方への生活支援として、養育費等一世帯20万円の支援金を支給した。

21件 420万円

② 里親子クリスマス会への協力

東日本大震災による被災地である宮城県なごみの会及び仙台市ほほえみの会が開催する「クリスマス会」に対して経費の一部を負担した。

クリスマス会～里親と里子の集いへの支援 助成額 15万円

④ その他大規模災害に対する里親及び児童等に対する支援

令和元年10月 台風19号被害により里親家庭 2件 20万円

7 理事会・評議員会等開催状況

会議等事業	開催日時	開催場所	議 題
決算監事監査	5/9	全国里親会事務局	1 平成 30 年度 事業報告 2 平成 30 年度 収支決算
(第 1 回) 決算理事会	5/31 15～17 時	三田いきいきプラザ	1 平成 30 年度 事業報告 2 平成 30 年度 収支決算 3 監査報告 4 会費改定時期について 5 評議員会の開催について
定時評議員会	6/17 13～15 時	全国里親会事務局	1 平成 30 年度 事業報告 2 令和元年度全国里親大会 3 令和元年度事業計画・予算
業務執行 理事役員会	5回/年	本部事務局及び 大阪市・仙台市など	1 人事及び定款変更 2 会費改定 3 里親月間啓発活動・研修講座
第 2 回理事会	10/12 9～10 時	東北福祉大学仙台駅東 口キャンパス	1 全国里親大会について 2 定款変更 3 令和 2 年度 事業計画 4 役員の任期満了 5 里親保険について
第 1 回 第三者委員会	11/5 14～16 時	ハロー貸し会議室 新橋	1 平成 30 年度 事業計画 2 平成 30 年度 収支決算 3 役員選定等について
臨時評議員会	11/5 16～18 時	ハロー貸し会議室 新橋	1 定款変更 2 令和 2 年度役員改選
第 3 回理事会	12/17 10～12 時	港勤労会館	1 事業計画の見直し 2 次年度事業計画案 3 次年度予算案 4 助成金の取り扱いについて
第 4 回理事会	2/9 15～17 時	ハロー貸し会議室 新橋	1 事務局体制 2 令和 2 年度 事業計画案 3 令和 2 年度 予算案 4 次年度会費徴収 5 助成事業について
第 5 回理事会	3/24 15～17 時	ハロー貸し会議室 新橋	1 令和 2 年度 事業計画案 2 令和 2 年度 予算案 3 里母・全国大会について 4 評議員先手委員会の開催 5 新型コロナウイルス発生・ 予防などによる行事計画の緩和

